

平成23年度 南砺市協働のまちづくりモデル事業

# 協働のまちづくり計画書

□平成23年5月□

団体名 「真実の涙をもう一度」有志会

## 第1 申請団体概要

1 団体の名称 (NPO、ボランティアグループなど、 市民団体の名称)	「真実の涙をもう一度」有志会
2 代表者の氏名	佐古田 宗幸
3 事務担当者の氏名	高田 雅勝
4 事務所所在地 (連絡先)	〒939-1600 富山県南砺市  E-mail : tt.johana01@gmail.com
5 団体の概要 (組織の目的、活動内容など)	・全国に在住する、南砺市・城端を舞台にした映像作品ファンと、南砺市民との協働を推進する事業の企画、実施を行う、ファン有志の集まり →南砺市内の施設を使用したファンイベント、地域に古くから続いている祭での出店企画など
6 申請団体の 組織構成	別紙「執行部名簿」を参照

## 第2 事業のテーマ及び目標

1 事業区分 (交付要綱第4条第1項の事業名)	②産業振興事業（地域資源を活かしたコミュニティビジネスなど） ⑦地域活性化事業				
2 計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 25 年度				
3 事業（活動）のテーマ (キーワードなど)	南砺市を作品舞台ファンの「もう一つのふるさと」に ～南砺市の文化・歴史・伝統を、映像作品を核に発信・発展～				
4 事業（活動）の内容	全体説明		南砺市、城端地域を舞台にした映像作品などを核にし、南砺市の地域・産業の活性化を図る企画を 3 つの柱で実現 □作品の舞台を訪れるファンの増加・リピーター化 □作品と地元特産品とのコラボレーション商品提案、作品にちなんだイベント企画・開催 □作品をきっかけに南砺市を知ったファンと地域住民との新しいネットワーク構築		
	公益的、社会貢献的な事業としての説明	別紙「私たちが実現したいこと」を参照			
	市民満足度が高まる事業としての説明	別紙「私たちが実現したいこと」を参照			
	先進性、先駆性のある事業としての説明	別紙「私たちが実現したいこと」を参照			
5 目標（数値目標）	目標区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	南砺市内でのイベント開催、定着。南砺市来訪の起爆剤、リピート率の向上に	城端曳山祭、城端むぎや祭等の祭事以外でも独自イベントを開催	左記に加え、常設スペースにおいても不定期にイベント開催	特産品販売などの収益で、補助に頼らないイベント開催・商品開発が可能に	南砺市を富山県西部、石川県在住のファンの交流拠点に。
	南砺市の特産品と映像作品のコラボ企画、南砺市内を中心に販売。段階的に拡大・発展	【第一步】 試験的に城端地域で販売。販売データの蓄積（購入層、新しい要望など）	【販売額増加】 前年度の実績、ファンからの要望などを踏まえ、新しい商品の企画・販売。城端以外の南砺市域（五箇山、井波など）でも観光振興と結びつける準備	【つながりづくり】 観光振興とタイアップした特産品を企画・販売。作品名などを通じた生産者同士のネットワークを構築。ファンなどとの交流も図る	【人づくり】 ネットワークを維持・発展させ、特産品の定着を図る。特色ある南砺市に魅かれ、県内外から多くの若者が集う。ネットワークを通じ特産品を企画・販売
6 目標設定の考え方	助成の対象となる3年間を「運営の基盤づくり」の期間として位置づけ、助成終了後も自立した運営を継続し、南砺市を「夢を追い、まちの将来を担う人材が生き生き活動できる」まちにするため貢献				

第3 事業計画総括表（3年間分）

事業（活動）項目	事業（活動）内容	概算総事業費 (千円)	実施スケジュール
<p>作品の舞台を訪れる ファンの拡大・ リピーター化のために</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファン、地域、作品関係者が協力した、「南砺市でなければできない」イベントの開催</li> <li>・城端地域を中心とした、地域の祭や催事への出店</li> </ul>	<p>690</p>	<p>23年9月 ～ 25年3月</p>
<p>作品と地元特産品の コラボレーション提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品関係者との折衝</li> <li>・生産事業所、関係事業所との折衝</li> <li>・販売ルートの確保</li> </ul>	<p>60</p>	<p>23年10月 ～ 25年3月</p>
<p>作品をきっかけに 南砺市を知った ファンと地域住民との 新しいネットワーク 構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのコンテンツ充実、発信回数の増加</li> <li>・ファンと地域住民とのコミュニケーションサイトの構築</li> <li>・ファンと地域の人たちが交流できるスペースを常設</li> </ul>	<p>375</p>	<p>23年7月 ～ 25年3月</p>

第4 事業実施計画

(平成23年度)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
城端地域での祭に出展	城端	祭期間中、空き店舗や貸しスペースを借り受け、ファンの休憩・交流場所として開放。 →会場使用料、備品購入など	9月 ～3月	50千円	40千円	10千円	
生産現場の視察、生産業者との商品開発	城端 井波 五箇山	24年度の特産品販売実施に向け、作品関係者に許諾を得たうえで、生産者への企画提案、交渉を行う。 →製品化提案に向けての必要経費	10月 ～3月	50千円	40千円	10千円	
作品と桜を結びつけたイベント企画(平成24年4月に予定)準備、告知	城端 福光	作品の舞台になった、城端・福光地域の桜と結びつけたイベントを計画 →告知用チラシ、ポスターの作成	1月 ～3月	125千円	100千円	25千円	
舞台探訪マップ作成	城端 福光など	南砺市を中心とした舞台モデル地を網羅したマップの企画・作成など →マップ印刷費用	10月～	150千円	120千円	30千円	
計				375千円	300千円	75千円	

(平成24年度)

事業（活動）項目	事業（活動）実施地域	事業（活動）内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
作品と桜を結びつけたイベント企画	城端 福光	作品の舞台になった、城端・福光地域の桜と結びつけたイベントを計画 →イベント実施費用、ボランティアスタッフへの実費支給（食事費用、ツアー参加費用の一部など）	4月	50千円	40千円	10千円	
城端地域での祭への出店	城端	祭期間中、空き店舗や貸しスペースを借り受け、ファンの休憩・交流場所として開放。 →会場使用料、水光熱費、ボランティアスタッフへの実費支給（食事費用など）	5月 ～9月	75千円	60千円	15千円	
作品と絡めたファンイベント	城端	記念講演会、記念品配布など →講師お礼、記念品作成費用など	1月 ～3月頃	240千円	192千円	48千円	
特産品の試行販売企画	城端	城端地域での試行販売、購入者へのアンケート調査 →宣伝ポスター、販売にかかわる必要経費	5月～	10千円	8千円	2千円	
計				375千円	300千円	75千円	

(平成25年度)

事業（活動）項目	事業（活動） 実施地域	事業（活動）内容	実施 時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
常設の交流スペース開設	城端	ファンと地域住民が気軽に立ち寄り、交流できる無料のサロンを開設 →賃貸料、備品購入費用、備品保管場所の確保費用	4月～	375千円	300千円	75千円	
計				375千円	300千円	75千円	

平成23年度 南砺市協働のまちづくりモデル事業

# 協働のまちづくり計画書

《平成23年 5月》

団体名 あんぜんでおいしい野菜をつくる会

第1 申請団体概要

<p>1 団体の名称 (NPO、ボランティアグループなど、市民団体の名称)</p>	<p>あんぜんでおいしい野菜をつくる会</p>
<p>2 代表者の氏名</p>	<p>館 田 宏 親</p>
<p>3 事務担当者の氏名</p>	<p>置 田 正 俊</p>
<p>4 事務所所在地 (連絡先)</p>	<p>〒939- 南砺市 TEL E-mail : FAX</p>
<p>5 団体の概要 (組織の目的、活動内容など)</p>	<p>市内で発生している学校給食、自治会等の残渣を堆肥化し、公共施設や農業等を活用することにより、生産から消費までを一つの輪とした循環型社会の推進と、食育に寄与することを目的としその活動を行なう。</p>
<p>6 申請団体の 組織構成</p>	<p>別 紙</p>

(別紙) 6. 申請団体の組織構成

No.	氏名	住所	担当	所属
1	舘田宏親	南砺市	代表	
2	松本敏博	南砺市	副代表	
3	江田攻	南砺市	企画担当	
4	置田正俊	南砺市	経理担当	
5	藤井成祥	南砺市	生産技術責任者	
6	谷口和尋	南砺市	企画担当	
7	吉藤国之	南砺市	企画担当	
8	斉藤光一	南砺市	企画担当	
9	支援事業社 (有)福光ワースフル	南砺市	・小中学校から排出される調理くず、残飯等の生ゴミを処理し、 堆肥化している企業	

第2 事業のテーマ及び目標

1 事業区分 (交付要綱第4条第1項の事業名)	産業振興事業				
2 計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 25 年度				
3 事業(活動)のテーマ (キーワードなど)	①安全でおいしい野菜作り ②生ゴミの有機肥料化による循環型社会に寄与する ③休耕田の活用による地域活性化 ④雇用創出				
4 事業(活動)の内容	全体説明	南砺市の資源(立野ヶ原の赤土、市内の教育施設から排出される生ゴミ)を有効活用し安全でおいしいじゃが芋等の野菜づくり事業を行ない、学校給食への食材供給や地域・学校での収穫祭を通じ食育と循環型社会の推進に努める。			
	公益的、社会貢献的な事業としての説明	1. 新たな産業の創出で、地域と農業の振興に寄与する。 2. 環境保全型農業の推進を図り、循環型社会形成への貢献に寄与する。			
	市民満足度が高まる事業としての説明	1. 収穫祭等を通してコミュニティの広がりや地域のにぎわいを創出する。 2. 有機野菜の提供で安心できる食を提供することができる。			
	先進性、先駆性のある事業としての説明	1. ゴミの有効活用により、CO2削減効果が期待される。 2. ブランド野菜化づくりで外食及びショップ事業(6次産業化)への展開を図る。			
5 目標(数値目標)	目標区分	平成24年度(3反)	平成25年度(6反)	平成26年度(9反)	平成27年度
	生産量	4,500 Kg	9,000 Kg	13,500 Kg	
	売上げ	540,000	1,080,000	1,620,000	
6 目標設定の考え方	将来通年間 生産目標 18t、販売目標 3,000千円とし算出。				

第3 事業計画総括表(3年間分)

事業(活動)項目	事業(活動)内容	概算事業費	実施スケジュール
1.事業計画策定	<p>立野ヶ原地区の赤土を調査し、おいしい野菜作りをするための事業計画書を作成する。</p> <p>① 活動グループの結団式            ② 目的、目標、役割分担、事業計画の確認            ③ 施策の実施方法について検討            ④ 年間スケジュール(詳細)の作成            ⑤ 経営計画の策定            ⑥ 現地調査と実証実験            ⑦ 事業計画書の作成            ⑧ その他</p>	千円	自己負担
2.生ごみの収集	<p>ごみ処理施設へ搬入処理していた学校給食等の残渣などの生ごみを新たに回収し、堆肥製造機により有機肥料を製造する。</p>	3,616	自己負担
3.じゃがいもの生産	<p>赤土でのじゃがいもの植え付け、追肥、収穫</p>	1500	市補助金 自己負担
4.収穫祭の開催	<p>収穫祭を通して地域の連携を図る場とする。</p> <p>収穫したじゃがいも等を通じて児童への循環型社会形成の大切さを学習する機会とする。</p>	450	市補助金
計	4項目	5,566	

(平成23年度)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
		①活動グループの結団式 ②目的、目標、役割分担、事業計画の確認 ③施策の実施方法について検討 ④年間スケジュール(詳細)の作成 ⑤経営計画の策定 ⑥現地調査と実証実験 ⑦事業計画書の作成 ⑧その他		千円	千円	千円	
1.じゃがいもの生産	立野ヶ原	赤土でのじゃがいもの植え付け、追肥、収穫	植付4月 収穫8月	500	150	350	自己負担
2.収穫祭の開催	立野ヶ原	収穫祭を通して地域の連携を図る場とする。					
	福光東部 小学校	収穫したじゃがいも等を通じて児童やPTAに循環型社会形成の大切さを学習する機会とする。	9月	150	150		
3.生ゴミの収集 有機肥料製造	(有)福光 ワースフル	ごみ処理施設へ搬入処理していた学校給食等の残渣などの生ごみを新たに回収し、生ゴミ処理機により有機肥料を製造する。	通年	0			
計	2箇所程度	2項目	通年	650	300	350	

(平成24年度)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
1.生ごみの収集 有機肥料の製造	井波小学校 井波中学校	ごみ処理施設へ搬入処理していた学校給食等の残渣などの生ごみを新たに回収し、生ゴミ処理機により有機肥料を製造する。  新規に堆肥製造機を1台購入	通年	308 <sup>千円</sup>	千円	308 <sup>千円</sup>	自己負担
			5月	3,000		3,000	自己負担
2.じゃがいもの生産	立野ヶ原	赤土でのじゃがいもの植え付け、追肥、収穫	植付4月 収穫8月	500	150	350	
3.収穫祭の開催	立野ヶ原	収穫祭を通して地域の連携を図る場とする。		150	150		
	井波小学校 井波中学校	収穫したじゃがいも等を通じて児童やPTAに循環型社会形成の大切さを学習する機会とする。					
計	2箇所程度	2項目	通年	3,958	300	3,658	

(平成25年度)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
1.生ごみの収集 有機肥料の製造	城端小学校 城端中学校	ごみ処理施設へ搬入処理していた学校給食等の残渣などの生ごみを新たに回収し、堆肥製造機により有機肥料を製造する。	通年	308 千円	千円	308 千円	自己負担
2.じゃがいもの生産	立野ヶ原	赤土でのじゃがいもの植え付け、追肥、収穫	植付4月 収穫8月	500	150	350	
3.収穫祭の開催	立野ヶ原  城端小学校 城端中学校	収穫祭を通して地域の連携を図る場とする。  収穫したじゃがいも等を通じて児童への循環型社会形成の大切さを学習する機会とする。		150	150		
計	2箇所程度	2項目	通年	958	300	658	

平成 23 年度 南砺市協働のまちづくりモデル事業

# 協働のまちづくり計画書

《平成 23 年 5 月》

団 体 名 平郷土学習会

第1 申請団体概要

<p>1 団体の名称 (NPO、ボランティアグループなど、市民団体の名称)</p>	<p>平郷土学習会</p>
<p>2 代表者の氏名</p>	<p>池田美智子</p>
<p>3 事務担当者の氏名</p>	<p>大瀬 和美</p>
<p>4 事務所所在地 (連絡先)</p>	<p>〒939- 南砺市 TEL — FAX E-mail :</p>
<p>5 団体の概要 (組織の目的、活動内容など)</p>	<p>昭和63年婦人学級でボランティアガイドの講演を聞き、五箇山を訪れた人々に良いところをもっと知ってもらいたいと、五箇山の自然や人・文化の大好きな主婦が集まった。学び伝えたい・語り部になりたい・を目標に平成元年より、村史を教科書に学び始めた。ただ学ぶだけではなく、聞き取りや取材を行い、学んだことを記録に残してはどうかと言うアドバイスを元にスライド作品にまとめ、富山県自作教材コンクールに出品した。2年目からはテーマを一つに絞り、平成18年度までに11作品を制作。平成11年11月9日作目の「五箇山のおばあちゃん」は全国大会において文部大臣賞の榮譽に輝いた。小学校・中学校・高等学校・婦人会・老人会などで講演を行い、又、商工会や他府県との交流などでも五箇山の紹介を行う手段として役立てることができた。</p>
<p>6 申請団体の 組織構成</p>	<p>代 表 池田美智子 サークル長 大瀬和美 会 計 高田育好 会 員 九里光枝 近藤和美 村上幸子</p>

第2 事業のテーマ及び目標

<p>1 事業区分 (交付要綱第4条第1項の事業名)</p>	<p>伝統文化の保全又は復活等の振興事業</p>	
<p>2 計画期間</p>	<p>平成 23 年度 ～ 平成 25 年度</p>	
<p>3 事業（活動）のテーマ (キーワードなど)</p>	<p>五箇山の記憶遺産を後世に —手作り絵本による五箇山暮らしの紹介—</p>	
<p>4 事業（活動）の内容</p>	<p>全体説明</p>	<p>自作のスライド11作品は既にDVD化してあり、テレビで簡単に見ることが出来るようになったが、機器が必要であることから絵本化に取り組みたい。私たちの活動は、作品製作当初から、五箇山の文化や・歴史・産業・暮らしなど、先人達から受け継いだことを、生の声で子供たちに伝えたい気持ちでいっぱいであった。そこで、今回作成した絵本を使って保育園や老人施設で読み聞かせを行う。保育園では子供たちを膝に乗せてやさしい言葉の響きで絵本を読み聞かせることにより、子供たちの心も豊かになり、郷土愛が育まれると思われる。又、老人施設ではお年寄りの方に昔のことを思い出してもらう事により、生きてきた喜びが今生きる喜びにつながればと考える。絵本なら機器も不要で、表紙に五箇山和紙を使用することで、より温かみのある郷土色豊かなものにしたい。</p>
	<p>公益的、社会貢献的な事業としての説明</p>	<p>学習会立ち上げ当時、村内めぐりを婦人会・小学生と実施した時に、古き良きものが姿を消していることに気がつき、消えつつあるもの・今あるものを残そうとフィルムに納めた。養蚕は取材の次の年に後継者が無く五箇山の仕事から消えた。取材などを通して見えなかったものが見えてきたり、先人のご苦労や多くの知恵を学んだ。大変な労力で作成された村史や、多くの方々への取材から学んだ事を伝えることが、社会貢献になると考えている。</p>
	<p>市民満足度が高まる事業としての説明</p>	<p>歴史・文化・産業などを伝えるだけでなく、絵本を読み聞かせることにより、温かみが直に伝えられ、表紙に五箇山和紙を使用することにより、より愛着を感じるものにしたい。又、広く五箇山の暮らしが紹介されることで、地域住民が地域に誇りを持つようになると思われる。</p>

	先進性、先駆性のある事業としての説明	五箇山の解説書や写真集はあるが、暮らしを陰で支えてきた女性や、女性の目線での書物は今までに無く、柔らかく味わいがあり、共感を得られる絵本となると考えている。			
5 目 標 (数値目標)	目標区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	読み聞かせ回数	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 2 回
	訪問施設数	5 箇所	5 箇所	5 箇所	5 箇所
6 目標設定の考え方	地域保育園、放課後こども教室、ディサービス施設、特別養護老人ホームなどを訪問して活動を広げたい。				

注1) 「事業区分」には、南砺市協働のまちづくりモデル事業補助金交付要綱第4条に掲げる事業のうち、該当する事業を記入すること。

注2) 「計画期間」には、協働のまちづくり計画の目標を達成するために必要な取り組みの期間として、当該事業終了までの期間を記入すること。

注3) 「事業（活動）のテーマ」には、事業や活動のキーワード、キャッチフレーズ、スローガンなどを記入すること。

注4) 「事業（活動）の内容」については、次のそれぞれにより記入すること。

- ・「全体説明」には、事業や活動の内容を分りやすく記入すること。
- ・「公益的、社会貢献的な事業としての説明」には、地域課題や社会的課題の解決が図られるなど、事業の公益的、社会貢献的な部分の内容説明を記入すること。
- ・「市民満足度が高まる事業としての説明」には、具体的に市民にもたらす効果や期待できる成果などの部分の内容説明を記入すること。
- ・「先進性、先駆性のある事業としての説明」には、工夫やアイデア、新しい取り組みとしてアピールできる部分の内容説明を記入すること。

注5) 「目標」には、協働のまちづくりの目標を数値で示すこと。

注6) 「目標設定の考え方」には、数値目標を設定した考え方や理由を記入すること。

第3 事業計画総括表（3年間分）

事業（活動）項目	事業（活動）内容	概算総事業費 (千円)	実施スケジュール
視察 原画 構成会議 挿入文考察会 校正  読み聞かせ訪問交通 費	大島絵本館視察 原画依頼 構成 文章 校正 印刷 製本（200冊）  読み聞かせ30回	10 300   723 189  30	各年
計		1252	

第4 事業実施計画

(平成23年度)

事業（活動）項目	事業（活動） 実施地域	事業（活動）内容	実施 時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
絵本作り		絵本「おばあちゃんのとうふ」		千円	千円	千円	
視察	大島絵本館	大島絵本館視察	7月	10	300	120	
原画		原画依頼	7月	100			
構成会議	平文化複合	構成	7月				
挿入文考察会	施設	文章	8月				
		校正	9月				
印刷	印刷会社	印刷	10月	241			
製本	五箇山和紙	製本 (200冊)	11月	63			
読み聞かせ訪問 交通費	平みどり保 育園 平放課後こ ども教室 平ディスー ビスセンタ ーなど		12月～	6			
計				420	300	120	

(平成24年度)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
絵本作り 原画 構成会議 挿入文考察会  印刷 製本  読み聞かせ訪問 交通費	平文化複合 施設  印刷会社 五箇山和紙  平みどり保 育園 平ディスア ビスセンタ ー 平放課後こ ども教室 特別養護老 人ホームき ららなど	絵本作り「やねふき」 原画依頼 構成 文章 校正 印刷 製本  読み聞かせ訪問 (12回)	5月 5月 6月 7月 8月 9月  4月～ 3月	千円 100   241 63  12	千円 300	千円 116	
計				416	300	116	

(平成25年度)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
絵本作り 原画 構成会議 挿入文考察会  印刷 製本  読み聞かせ訪問 交通費	平文化複合 施設  印刷会社 五箇山和紙  平みどり保 育園 平ディスア ビスセンタ ー 平放課後こ ども教室 特別養護老 人ホームき ららなど	絵本作り「みさらしのあかり」 原画依頼 構成 文章 校正 印刷 製本 (200冊)  読み聞かせ訪問 (12回)	5月 5月 6月 7月 8月 9月  4月～ 3月	千円 100   241 63  12	千円 300	千円 116	
計				416	300	116	

平成23年度 南砺市協働のまちづくりモデル事業

# 協働のまちづくり計画書

《平成23年 5月》

団体名 南砺市ボランティア  
社会せ電話グループ

第1 申請団体概要

<p>1 団体の名称 (NPO、ボランティアグループなど、市民団体の名称)</p>	<p>合わせ電話グループ</p>
<p>2 代表者の氏名</p>	<p>前川 正夫</p>
<p>3 事務担当者の氏名</p>	<p>板板 年子</p>
<p>4 事務所所在地 (連絡先)</p>	<p>〒 - TEL FAX E-mail :</p>
<p>5 団体の概要 (組織の目的、活動内容など)</p>	<p>友愛訪問電話によって単身老人、在宅ねんきり老人の介護者の健康と安否確認健康並に生活相談に応じている 生きがいの向上につとめている。 この電話に併せて信頼と生き甲斐がなく近道とするため 日本人の学者 韓如上人の紙芝居 砺波地方に伝わる民謡、大正琴の演奏入りで 大声でうたうことで元気をとり上げるよう努めている。実施手続 単位老人会のサロン、市社協のサロンに於て 学校・老人ホームで申請のあるところ</p>
<p>6 申請団体の 組織構成</p>	<p>会員8名 別紙 当番制で実施している 相談実施 毎週火曜日午後 2人1き 夜間 毎月10日20日30日 午後時30分より</p>

第2 事業のテーマ及び目標

1 事業区分 (交付要綱第4条第1項の事業名)	伝統文化の復活をほかり、地域住民と安全で住みよい福祉の町づくりを <del>実施</del> いたします (先を語る 大きく市の事業であること 情報、青少年と交流)				
2 計画期間	平成 23 年度 早~ 平成 24 年度				
3 事業(活動)のテーマ (キーワードなど)	住みよい心ゆたかな福祉の町づくり				
4 事業(活動)の内容	全体説明	本願寺や五世線如上人(琳泉寺)紙芝居の普及上漢、地域の伝説発掘読み語り 身近な地域の名水・伝説調査研究、発表(活用) 市内社会事業 サロン、敬老会、老人会 要請をき			
	公益的、社会貢献的な事業としての説明	單身老人の生甲斐を高める活動 電話訪問、老人会と交流をとりて密接な連携をはかる 單身老人、町内会、民生委員老人会などで、どこでも見守り合ふこと、水準の高い福祉サービスができる			
	市民満足度が高まる事業としての説明	親しく、共に支えあふ活動として方向づける。相互の見守り 目かけあいこと 福祉力を高める初歩、福祉サービスが強化されるかと思い出す			
	先進性、先駆性のある事業としての説明	市内の電話グループと連携をとりあり 先駆性の勉強会とする 單身老人の福祉については 傾聴ボランティアとして交流を図る 目標 地域を理解しあつて 気軽にコミュニケーションの取りあふ所			
5 目標(数値目標)	目標区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	毎月一回一斉、 單身老人 130人 清水調査 曲踏伝説	安全 健康等	〃	完結	
6 目標設定の考え方	地域福祉の増進を目標として、一人暮らし老人、在宅介護者の健康、生甲斐等 木目にはかな交流を図る。老人クラブ活動の充実 総合的支援態勢づくり資料提供 会員の増強につとめる				

第3 事業計画総括表 (3年間分)

事業(活動)項目	事業(活動)内容	概算総事業費 (千円)	実施スケジュール
<p>第一年次 平成24年</p>	<p>地域福祉を高めため安全で明るい町づくを行います。 活動の対象特にひとり暮らし老人・寝きり介護者支援 支援活動資料の作成 安否確認電話 交流活動資料作成 若年者と交流 民生委員と連携</p>	<p>142,000円</p>	<p>ボランティアと連携 相互交流</p>
<p>第二年次 平成25年</p>	<p>老人クラブと連携をばかり心の健康と生き甲斐に配慮 しながら仕合せづくり努力します 日本一が堂々輝如上人(瑞雲寺)細若長 尺語集をつくり 心の健康にとまようサロン等々歌を楽しむ</p>	<p>96,000円</p>	<p>ボランティア応援</p>
<p>第三年次 平成25年</p>	<p>従前に引つとえ 老人会、ボランティア等を調査した 地域の溜水、由緒を記録して本と活用しながら老人クラブ と共にひとり暮らしの老人と明るい生活活動を行います。</p>	<p>200,000円</p>	
	<p>今回の取組の町の事業の趣意に添った活 動を若年者ととこに高揚しすすり努力のついで</p>	<p>計 437,000</p>	

第4 事業実施計画  
(平成23年度)

① 地域福祉活動 ネットワーク(社会と電話会員支援)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費 千円	負担区分		備考		
					市補助金 千円	その他 千円			
根回りの福祉の所づくり  原稿作成(6月) 調査手引 歴史調 200冊 清水 200冊 印刷 1. 老人会、民生院、中学生、ボランティア 原稿仕上げ 8月		① 単身老人・寝たきり介護者の支援・青少年の育成 なぜネットワーク活動が必要か 一見落しなくサポートするため 1. 地域住民と交流 町内会 民生院 老人会 毎月実施 2. 単身老人へ福祉 電話訪問、安否健康 3. 寝たきり老人介護者福祉 電訪訪問 会議と 奉仕 4. 心の健康 芝居、伝説話語り、合唱 新鮮な情報提供 地区話題 健康管理情報の提供 老人用の歌謡集 2冊	毎月実施	30,000	千円	千円			
		5. 福祉資源の調査南条(地域内の) 清水と伝説と昔まから語りうがいた事 → 調査手引印刷(事例手引南見史200冊 9月開始) 200冊		40,000	-	-			
		6. 青少年との交流 日本一の綿糸織芝居 地域の由緒伝説の読み語り調査		47,000	-	-			
		7. 福祉施設の慰問と紙芝居、民謡交流 希望は、		10,000	-	-			
		8. その他 随時実施							
		計				142,000	113,600	28,400	

第4 事業実施計画  
(平成24年度)

② 地域福祉活動 ネットワーク(社会と電話会員支援)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費 千円	負担区分		備考		
					市補助金 千円	その他 千円			
校同の福祉の町づくり  印刷 1. 老人会、民生院、中学生、ボランティア 200冊 2. 完結編 500冊		単身老人・寝たきり介護者の支援・青少年の育成 なせネットワーク活動が必要か 一見落しなくサポートするため							
		1. 地域住民と交流 町会、民生院、老人会 2. 単身老人へ福祉電話訪問、安否健康支援 3. 寝たきり老人介護者福祉 電訪訪問	毎月	30,000					
		4. 心の健康 芝芝居、伝説読語り、民謡 新鮮な情報提供 地区話題 健康管理情報の提供	"	15,000					
		5. 福祉資源の調査南帯(地域内9町) 清水と伝説と昔まがの語りうがむ事 → 調査手引印刷(事例集) 200冊	10月	20,000					
		6. 青少年との交流、日本一の綿糸紙芝居 地域の由緒伝説の読み語り	"	30,000					
		7. 福祉施設の慰問と紙芝居、民謡交流 8. その他	要時時						
		計				95,000	76,000	19,000	

第4 事業実施計画  
(平成25年度)

③ 地域福祉活動 ネットワーク(仕合と電話会員支援)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
校同の福祉の町づくり  印刷 1. 老人会、民生協、中学生、ボランティア 20冊 2. 完結簿 500冊	単身老人	寝たきり介護者の支援、青少年の育成 なせネットワーク活動が必要か 一見落しなくサポートするため		千円	千円	千円	
		1. 地域住民と交流 町会、民生協、老人会 2. 単身老人へ福祉電話訪問、安否健康支援 3. 寝たきり老人介護者福祉 電訪訪問	毎月	10,000			
		4. 心の健康 老芝居、伝説語り、民謡 新鮮な情報提供 地区話題 健康管理情報の提供	〃				
		5. 福祉資源の調査南条(地域内9町) 清水と伝説と昔まがの語りうがむ事 → 調査手引印刷(事例集) 500冊 100冊×5	10月頃	180,000			
		6. 青少年との交流 日本一の緋如紙芝居 地域の由緒伝説の読み語り	〃	10,000			
		7. 福祉施設の訪問と紙芝居、民謡交流 8. その他	要時				
		計				200,000	160,000

平成23年度 南砺市協働のまちづくりモデル事業

# 協働のまちづくり計画書

《平成23年 5月》

団体名 東太美子ども声かけ隊

第1 申請団体概要

<p>1 団体の名称 (NPO、ボランティアグループなど、市民団体の名称)</p>	<p>東太美子ども声かけ隊</p>
<p>2 代表者の氏名</p>	<p>高瀬 和子</p>
<p>3 事務担当者の氏名</p>	<p>鶴野 善子</p>
<p>4 事務所所在地 (連絡先)</p>	<p>〒 — 南砺市 TEL — FAX — E-mail :</p>
<p>5 団体の概要 (組織の目的、活動内容など)</p>	<p>福光南部小学校には放課後児童クラブがなく、働く親達が数年前から自治振興会や南部小学校育友会、福光町、南砺市へと現状を訴えて働きかけていたが、依然として抜本的な対応をしていただけない悩みを知り、「東太美子ども声かけ隊」のメンバーが中心となって、次世代を担う青少年の育成のためによりよい地域の環境づくりに努めていくことを目的とする。</p>
<p>6 申請団体の 組織構成</p>	<p>H23末現在 会員数56名 会長1名、書記1名、会計1名、監事2名、地区役員若干名</p>

第2 事業のテーマ及び目標

<p>1 事業区分 (交付要綱第4条第1項の事業名)</p>	<p>定住等促進事業（子育て支援）</p>	
<p>2 計画期間</p>	<p>平成 23 年度 ～ 平成 25 年度</p>	
<p>3 事業（活動）のテーマ (キーワードなど)</p>	<p>GO！ 三つの <b>あ</b> パワーをもった 東太美の宝物に！</p>	
<p>4 事業（活動）の内容</p>	<p>全体説明</p>	<p>平成 22 年度までは、夏休み子ども教室 12 回（週 2 日）、親子自然体験事業 4 回、世代間交流事業 2 回行ってきたが、振替休業日や長期休業時も夏休みと同様に又、放課後学童保育もぜひ公民館開放を実施してほしいとの要望がつよく、平成 23 年度より全面的に対応していきたい。夏休み子ども教室については、年度毎に一日ずつ増やして週 5 日間の完全実施をめざしていきたい。</p>
	<p>公益的、社会貢献的な事業としての説明</p>	<p>6 年前結婚と同時に新築し、現在居住しており年長児を持つ親からの相談で、平成 24 年 4 月に南部小学校へ入学予定だが、放課後児童クラブがないのでやむなく他校への入学準備のため、住む家探しをしなければならないとのこと。生まれも育ちも東太美であり、今後も住み続けたい思いの方の流出をさけるため、放課後学童保育を東太美公民館において受け入れをしていきたい。</p>
	<p>市民満足度が高まる事業としての説明</p>	<p>平成 21・22 年度は、夏休み子ども教室（軽食あり）を週 2 回実施してきたが、春休み、冬休みや振替休業日にも拡げて欲しいとのニーズが高まっている現状である。</p>
	<p>先進性、先駆性のある事業としての説明</p>	<p>福光地域には、中部小学校、東部小学校、南部小学校と 3 校あるが放課後児童クラブの併設がないのは南部小学校だけであり、働く親たちが安心できるように子育て支援をするため他校と同等の形態で開設したい。</p>

	目標区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
5 目標 (数値目標)	①利用者率の増加	100 %	100 %	100 %	100 %
	②協力者の拡大 (23 年度 会員 56 名)	全児童の家庭へ ( 23 名増)	中学生の家庭へ ( 20 名増)	幼児の家庭へ ( 20 名増)	東太美地区全戸へ (約 200 名増)
6 目標設定の考え方	<p>&lt;年度により児童数が異なるので利用者率で示す&gt; 利用者 (児童) 率の変化は 21 年度 54.3%だったので、公民館だ よりに記載していたのを南部小学校で全校児童に配布依頼をしたところ、22 年度 89.5%になる。もっと工夫をし 100%をめざしたい。子育ては家族の絆から社会の絆へとより多くの支援の輪を広めるため、親～家族～地域 (全戸) へと協力者の拡大をしていきたい。そして一部のボランティア事業ではなく、東太美地区のみならず南部校区全体の 子育て支援の基盤づくりにつながるようご理解ご支援をおねがいしたい。</p>				

※【 三つの あパワー 】 あいさつのパワー

あたたかい心のパワー

あんぜんパワー

第3 事業計画総括表（3年間分）

事業（活動）項目	事業（活動）内容	概算総事業費 (千円)	実施スケジュール
<p>①通学路マップ作り</p> <p>②登下校時の交通 安全街頭指導</p> <p>③振替休業日 子ども教室</p> <p>④放課後学童保育</p> <p>⑤長期休業時 子ども教室</p> <p>⑥夏休み子ども教室</p> <p>⑦親子自然体験事業</p> <p>⑧世代間交流事業</p>	<p>①毎年更新</p> <p>②通年（土日祝以外）</p> <p>③平成22年度より要請あり平成23年度より実施（年4回）</p> <p>④放課後児童クラブと同等の対応ができるよう平成23年度より放課後学童保育を東太美公民館解放で行う。</p> <p>⑤要望があり、平成23年度より開始</p> <p>⑥平成21・22年度は12～13回（週2回）実施したが、徐々に回数を増やし、週5回夏休み全日にしていきたい。</p> <p>⑦年4回継続</p> <p>⑧年2回継続</p>	<p>事務費 60</p> <p>謝金 150</p> <p>食材費 600</p> <p>消耗品費 60</p> <p>教材費 30</p> <p>印刷製本代 30</p> <p>通信運搬費 60</p> <p>使用料・賃借料 45</p> <p>保険料 90</p>	<p>②7:30～7:50 (集団登校時) 14:50～16:00 (低学年下校時)</p> <p>③8:00～12:30(軽食あり)</p> <p>④15:00～18:00 (公民館開放)</p> <p>⑤8:00～12:30(軽食あり)</p> <p>⑥8:00～12:30(軽食あり)</p> <p>⑦行事により午前や午後</p> <p>⑧8:30～13:00(軽食あり)</p>

第4 事業実施計画  
(平成23年度)

事業(活動)項目	事業(活動)実施地域	事業(活動)内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
①通学路マップ作り ②登下校時の 交通安全街頭指導 ③振替休業日子ども教室 ④放課後学童保育 ⑤長期休業時子ども教室 ⑥夏休み子ども教室 ⑦親子自然体験事業 ⑧世代間交流事業	東太美地区  (全域)	①毎年更新 ②通年、危険交差点や低学年単独下校地点 ③夏休み子ども教室と同様軽食後帰宅(全学年) ④中部小や東部小の放課後児童クラブのよう に対応したい(特に低中学年) ⑤働く親の強い要請に応えたく今年度より、夏休 み子ども教室と同じく軽食後(全学年) ⑥平成21年度から取組み、子ども達の要望を22 年度に加えて内容を充実させ、23年度はそれ らを継続していきたい。 ⑦公民館活動の一端として親子での活動(児童・幼児) ⑧高齢者とのふれあい	②通年 ③5/6,10/3 10/17,2/3 ④6月より ⑤冬休み 春休み ⑥12回 ⑦ 5/28,7/23, 8/6,9/23 ⑧ 8/25,12/23	千円 事務費 20 謝金 50 (5,000×10) 教材費 10 食材費 200 (8,000×25) 消耗品費 20 印刷製本代 10 通信運搬費 20 使用、賃借料 15 保険料 30 計 375	千円 千円	千円 自己資金 28 会費 500×56 その他の 収入 47 75	

(平成24年度)

事業（活動）項目	事業（活動） 実施地域	事業（活動）内容	実施 時期	概算事業費	負担区分		備考	
					市補助 金	その他		
①通学路マップ作り	東太美地区  (全域)	①平成23年度と同じ	⑥ 18回	千円	千円	千円		
②登下校時の 交通安全街頭指導		②平成23年度と同じ		事務費 20				自己資金
③振替休業日子ども教室		③平成23年度と同じ		謝金 50				28
④放課後学童保育		④平成23年度と同じ		(5,000×10)				会費
⑤長期休業時子ども教室		⑤平成23年度と同じ		教材費 10				500×56
⑥夏休み子ども教室		⑥平成24年度は週2回を週3回実施する。		食材費 200				
⑦親子自然体験事業		⑦平成23年度と同じ		(8,000×25)				その他の 収入
⑧世代間交流事業		⑧平成23年度と同じ		消耗品費 20				47
				印刷製本代 10				
				通信運搬費 20				
				使用、賃借料 15				
				保険料 30				
				計 375	300	75		

(平成25年度)

事業（活動）項目	事業（活動）実施地域	事業（活動）内容	実施時期	概算事業費	負担区分		備考
					市補助金	その他	
				千円	千円	千円	
①通学路マップ作り	東太美地区  (全域)	①平成23年度と同じ	⑥ 24回	事務費 20		自己資金	
②登下校時の 交通安全街頭指導		②平成23年度と同じ		謝金 50		28	
③振替休業日子ども教室		③平成23年度と同じ		(5,000×10)		会費	
④放課後学童保育		④平成23年度と同じ		教材費 10		500×56	
⑤長期休業時子ども教室		⑤平成23年度と同じ		食材費 200			
⑥夏休み子ども教室		⑥平成25年度は週3回を週4回実施する。		(8,000×25)		その他の 収入	
⑦親子自然体験事業		⑦平成23年度と同じ		消耗品費 20		47	
⑧世代間交流事業		⑧平成23年度と同じ		印刷製本代 10			
				通信運搬費 20			
				使用、賃借料 15			
				保険料 30			
				計 375	300	75	